記者発表資料

平成２３年１１月２８日
秋田河川国道事務所
酒田河川国道事務所

日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の概ねのルート及び出入り口の位置の公表と意見募集

日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の未事業化区間について、「全線新設案と現道活用案」の2つのルート案を提示し、アンケートで頂いたご意見等を踏まえ、防災面で優れる「全線新設案」が、１１月１１日開催の社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会で了承されたところです。

今般、了承された「全線新設案」について、絞り込んだルート及び出入り口の位置についてアンケートを行いますので、ご協力をお願いします。

１．アンケート：別紙のとおり

２．回答方法：

⑴アンケート用紙による回答

アンケート用紙と、回収用の投函BOXを下記の場所に設置しておりますので、ご記入後、投函BOXへお願いします。

《設置場所》

●秋田県内

秋田県由利地域振興局、由利本荘市役所（本庁）、
にかほ市役所（象潟庁舎、金浦庁舎、仁賀保庁舎）、
道の駅（象潟、にしめ）

●山形県内

山形県庄内総合支庁、酒田市役所（本庁、八幡総合支所、松山総合支所、平田総合支所）、酒田市総合文化センター、遊佐町役場、遊佐町立図書館、遊佐町生涯学習センター、遊佐町まちづくりセンター、道の駅（鳥海）

⑵インターネットによる回答

《アドレスからアクセスする場合》

下記のアドレスを入力してください。

http://www.thr.mlit.go.jp/akita/yuzakisakata.html

《バナーからアクセスする場合》

東北地方整備局、秋田河川国道事務所、酒田河川国道事務所の各ホームページのトップページに貼り付けてあるバナー（下図イメージ）をクリックしてください。

日沿道（遊佐～象潟）ご意見募集
（12月11日まで）

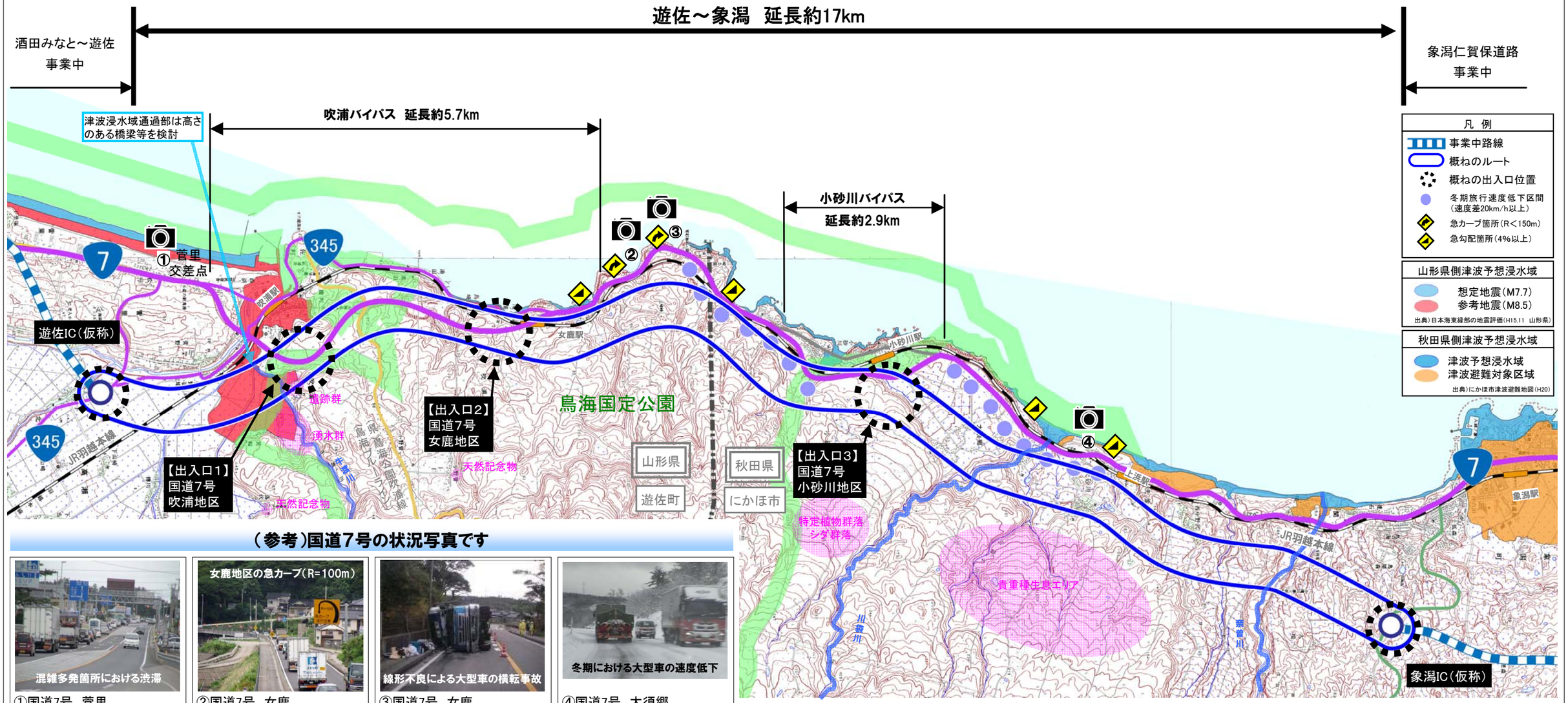
※秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の各ホームページにおいても同様のバナーやお知らせ・新着コーナー等からアクセス可能です。

３．意見募集期限：平成２３年１２月１１日（日）まで

発表記者会：秋田県政記者会
山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会

【お問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長（道路）　斉藤（さいとう）　文憲（ふみのり）
調査第二課長　田村（たむら）　寿（ひさし）
電　話：０１８－８２３－４１６７　（代表）
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
副所長（道路）　伊藤（いとう）　啓一（けいいち）
調査第二課長　菅（すが）　太（ふとし）
電　話：０２３４－２７－３３３１　（代表）

日本海沿岸東北自動車道（遊佐（ゆざ）～象潟（きさかた））　概ねのルート及び出入口の位置



（参考）国道7号の状況写真です

①国道7号　菅里

②国道7号　女鹿

③国道7号　女鹿

④国道7号　大須郷

＜前回アンケートの際に頂いたルート検討に関する主なご意見＞

●環境や景観関連
- ・海岸砂防林や鳥海山の貴重な動植物、湧水地に配慮したルートとしてほしい。
- ・観光誘客に向けた海の見える風光明媚なルートとしてほしい。　等

●アクセス性
- ・国道7号に近い位置にインターがあった方がよい。
- ・地域の利便性を考慮してほしい。　等

●その他
- ・津波に強い、津波からの避難を支援するルートとしてほしい。
- ・吹浦、鳥海付近は高台で眺望が良いので、防災拠点としてもPAを設置してほしい。　等

＜概ねのルート及び出入口位置の考え方＞

【概ねのルートの考え方】

○津波予想浸水域や、猛禽類等動植物の貴重種エリア、鳥海山麓の湧水群、天然記念物、遺跡を極力避け、国道7号現道へのアクセス性も考慮したルートを考えています。

【概ねの出入口位置】

○吹浦・女鹿地区からのアクセスや、国道7号菅里交差点の混雑緩和、鳥海ブルーラインとのアクセス、津波襲来時の避難を考慮した吹浦バイパス区間の2箇所と、秋田県側から日本海総合病院へのアクセス、県境部の線形不良区間の解消やリダンダンシー向上、津波襲来時の避難を考慮した小砂川駅付近のアクセスを考えています。

【調査実施主体】

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所　酒田河川国道事務所

秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町

【問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　調査第二課　＜TEL＞　018-864-2289（直通）
酒田河川国道事務所　調査第二課　＜TEL＞　0234-27-3494（直通）

日本海沿岸東北自動車道（遊佐（ゆざ）～象潟（きさかた））の概ねのルート及び出入り口の位置についてのアンケート

概ねのルート及び出入口の位置に関する資料をご覧頂き、皆様のご意見をお聴かせください

●インターネットによる回答も可能です

URL：http://www.thr.mlit.go.jp/akita/yuzakisakata.html

（東北地方整備局、秋田河川国道事務所、酒田河川国道事務所の各ホームページのトップページのバナー（下図イメージ）からもアクセスできます。また、秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の各ホームページにおいても同様のバナーやお知らせ・新着コーナー等からアクセスできます。）

日沿道（遊佐～象潟）ご意見募集（12月11日まで）

アンケートで頂いたご意見等を踏まえ、防災面で優れる**全線新設案**が、
社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会で了承されました。

◆対策案の概要（前回アンケートにてご提示）



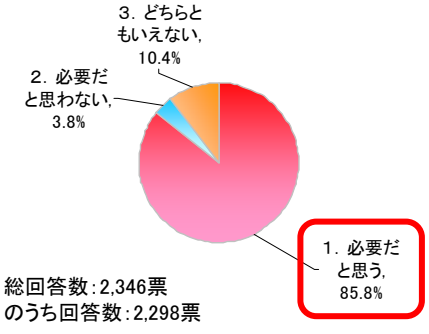
◆住民の方へのアンケート結果

・整備の必要性に関しては、**86%の方が「必要である」と回答**しています。（図1）

・整備にあたり重視すべき項目では、**「防災面」に関する項目が最も多く**挙げられました。（図2）

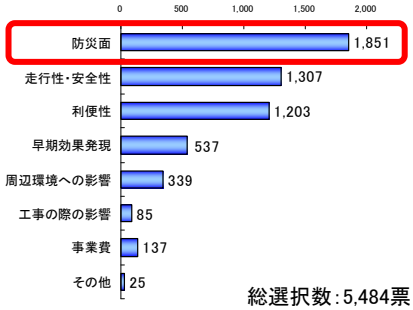
・「防災面」に関する項目では、**「代替性」を選んだ方が38%と最も多く**を占めました。（図3）

図1：日沿道（遊佐～象潟）整備の必要性



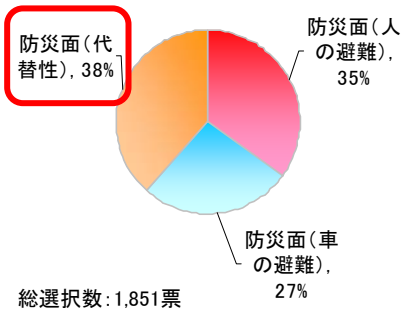
総回答数：2,346票
のうち回答数：2,298票

図2：整備にあたり重視する項目



総選択数：5,484票

図3：防災面の内訳



総選択数：1,851票

◆沿線自治体の市町長のご意見

・沿線の由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町のすべての市町長より、**「ダブルネットワークが確保される「全線新設案」での整備を要望」**とのご意見を頂きました。

◆秋田県知事・山形県知事のご意見

・秋田県知事、山形県知事より、**「全線新設案」で進めることに同意します。**とのご意見を頂きました。

◆対応方針

・「ダブルネットワークによる常時・非常時の信頼性向上」が達成でき、防災面で特に優れ、走行性・安全性の確保や災害に強い道路で、地域のニーズにも応えられる**「全線新設案」**とする。

※意見聴取結果の詳細については、東北地方小委員会資料をご参照ください。
（国土交通省東北地方整備局HP　URL　http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouiinkai/index.html）

※アンケートは裏面からになります。

※こちらは裏面（表面からの続き）です。

質問①あなたご自身についてお尋ねします。

あなた自身についてお聴きします。年齢、ご職業、性別、普通免許の有無について、あてはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。ご住所については、回答欄にご記入ください。

年齢	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代　6. 60代　7. 70代以上		
職業	1. 会社員　2. 公務員　3. 自営業　4. 農林水産業　5. 学生　6. 主婦　7. 無職　8.その他（　　）		
住所	[　　] 都･道･府･県　[　　] 市･区･町･村　地区名[　　]		
性別	1. 男　2. 女	普通免許	1. あり　2. なし

質問②

今回、日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）について、前回皆様にお聴きした意見等に基づき、道路が通過する概ねのルート及び出入口位置の考え方について提示しております。

ルート選定の考え方や出入口の位置について、妥当と思われますか？あてはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、その理由も下記回答欄にご記入ください。

1	妥当である	2	どちらとも言えない
3	妥当でない	4	わからない

選択肢の理由をご記入ください。

例）津波による寸断の恐れが少なく、避難･救援路としても有効に機能すると思われる
例）○○地区とのアクセス性を考慮してほしい　等

質問③

今回提示した概ねのルート及び出入口位置について、防災機能などの付加機能をもたせるとすれば、どこに、どのような機能が必要だとお考えですか？

例）○○地区について、住民が避難できる避難階段を設置してほしい
例）拠点避難施設となる○○小学校への緊急アクセス路を設置してほしい　等

質問④

その他、ご意見等があればお聴かせください。

※アンケートは、平成２３年１２月１１日（日）までに投函ＢＯＸへお願いします。

【投函BOX設置箇所】
秋田県由利地域振興局、山形県庄内総合支庁、由利本荘市役所（本庁）、にかほ市役所（象潟･金浦･仁賀保庁舎）、酒田市役所（本庁、八幡･松山･平田総合支所）、酒田市総合文化ｾﾝﾀｰ、遊佐町役場、遊佐町立図書館、遊佐町生涯学習ｾﾝﾀｰ、遊佐まちづくりｾﾝﾀｰ、道の駅（象潟、にしめ、鳥海）

ご協力ありがとうございました。